



令和5年6月30日

報道関係者各位

大野実氏が会長選挙で3期目の再選を果たす！ ～全国社会保険労務士会連合会通常総会～

全国社会保険労務士会連合会は、6月30日（金）パレスホテル東京（東京都千代田区）で令和5年度通常総会を開催し、前日6月29日（木）に実施された会長選挙において3期目の再選を果たした東京都社会保険労務士会推薦の大野実氏が会長に就任した。



▲就任挨拶をする大野会長

【大野実（おおのみのる）会長のプロフィール】

昭和27年11月13日生まれ
昭和57年6月10日登録（昭和53年11月2日入会）
平成3年 東京都社会保険労務士会理事
平成15年 東京都社会保険労務士会常任理事
平成21年 全国社会保険労務士会連合会理事
東京都社会保険労務士会副会長
平成25年 全国社会保険労務士会連合会副会長
東京都社会保険労務士会会長
平成27年 全国社会保険労務士会連合会参与
東京都社会保険労務士会理事
平成29年 全国社会保険労務士会連合会副会長
東京都社会保険労務士会会長
令和元年 全国社会保険労務士会連合会会長

【大野会長の所信】

1. 社労士業務の新たな展開と経済的基盤の拡大にむけて

- ①「第9次社労士法改正」を本年度中に成就すべく対応を一層強化する
- ②手続業務の信頼性の担保および手続業務の付加価値向上のために、SRP II や賠償保険等への加入促進をすすめる
- ③経営・労務管理分野での労務診断・労務監査等の更なる推進、ビジネスと人権等の視点からの取り組みなど新たな業務領域確保と拡大への挑戦
- ④高度な専門性確保の研修体制や情報共有のインフラ支援体制の強化

2. 新たな時代に期待される「社労士ブランド」の構築にむけて

- ①社会のグローバル化が進展するなかでILO・ISSAなど国際機関との関係について更に強化を図り社労士の活動領域の拡大を図る
- ②社労士総研組織の更なる活性化および「社労士白書」の充実とともに政策提言や学術的な研究を継続的かつタイムリーに発信できる体制を強化する
- ③「社労士未来戦略シナリオ2030」「社労士白書」などをてがかりに、社労士の未来を強く社会に発信していく

3. 社労士制度を支える組織機能・基盤などの未来への足掛かりの強化

- ①連合会と各都道府県会との共通基盤システムの開発に着手し、会員情報・研修や広報のコンテンツ等の提供について「連携」「共有」「一元化」という視点から再整備し、相互の業務の効率化・負担軽減化を実現する
- ②次世代を担う社労士が参加・活躍できる組織体制や委員会・プロジェクト等の機能や選任方法などを再考する
- ③社労士の職域を守りぬく為に、業務監察委員会、サイトの監視体制等の更なる強化

<本件に関するお問い合わせ先>

全国社会保険労務士会連合会 業務部企画・広報課（担当：梅木・上田・中田）

TEL：03-6225-4870 E-Mail：publicity@shakaihokenroumushi.jp

URL：www.shakaihokenroumushi.jp